

岡野 孝 則

(民主クラブ)

介護保険施設・今後の対策は

問 介護保険施設整備状況と第4期整備目標と待機者数は。

答 現在まで、認知症介護施設、通所介護、訪問介護、訪問看護等3施設。小規模多機能居宅介護、老健施設等1施設。

今後の目標は、地域定着型として小規模多機能居宅施設が1ヶ所。認知症型介護施設が2ヶ所、特養老人ホームを30床増設し130床の計画。各施設待機者数は、寿光園、ふれあいふらは待機者無し。北の峰ハイッ



約20名。老健が約85名。今後、介護認定者数も増加を予想し、介護基盤整備を拡充する。

問 介護、認知症の予防対策として家庭で出来る小冊子配布は。

答 今後も様々な取り組みを実施し、予防冊子は配布したい。

認知症施設の防火対策は

問 今春、痛ましい事故が発生。各施設の防火対策は万全か。

答 消防法違反施設なし。スプリンクラー必要2施設。1施設は整備終了。残り1施設は本年度交付金による整備申請。

少子化における学校配置計画

問 5年後の児童生徒数と将来の学校配置計画はどの様に。

答 本年5月現在で2,080人で5年後256人減の1,824人と予測。本年6月PTA連合会と共にプロジェクトチームを設置し将来に向け検討する。

学校評議員制度導入は

問 自己評価、学校外部評価を経て、第3者による学校評議員制度導入が必要と思うが。

答 必要。本年度より実施予定。

天日 公子

(民主クラブ)

地域医療の現状と課題

問 地域センター病院改築に伴う基本構想の確認書から現状と課題、進捗状況は。

答 現在診療科目は13科から15科に。医師数29・5人。開放型病床の利用は、平成21年度4医療機関患者11名427日間入院中21回の共同指導。

訪問診療は、泌尿科や総合内科の医師の動向により実施に向け検討すると聞いている。

地域センター病院運営委員会は、年1回開催している。病院の運営状況、診療体制の状況、救急体制、病診連携の状況報告と医師確保や救急体制の課題について協議実施。医療ニーズに沿った病院運営の改革・推進として医療ニーズの把握は院内に「投書箱」を設置。内容、対応を掲示板にて周知。

院内サービス委員会を設置し月1回の例会で、患者満足度調査の実施、苦情処理に関する事

例研修、全職員を対象にした接遇の研修を年2・3回取り組みながら、病院運営の改革推進に努力をしていると伺っている。



富良野協会病院

問 産婦人科の複数の常勤医体制について。

答 安全に出産できる体制の整備のために複数の医師の確保は重要。複数設置を要請していく。

国際交流の考えは

問 国際友好都市の追加は。

答 特定都市に限らず幅広く国際交流を推進する。現段階では友好都市協定は考えていない。

問 国際交流基金をより利用しやすい方向は考えられないか。

答 基金の目的を変更するような状況を考えてみたい。